

デジタル・シティズンシップ研修会 開催要項

1 趣 旨

今、欧米を中心に世界では「デジタル・シティズンシップ」という新しい教育の運動が広がっています。このデジタル・シティズンシップには、ソーシャル・メディア時代の新しい情報教育として非常に重要な指摘が含まれています。ネット上での行動は記録され永続的に残り続けることがあります。私たちは、個人情報のみならず管理する情報全ての未来に渡る影響を意識して行動する必要があります。また、ネットを介したコミュニケーションでは、積極的に安全に倫理観を持って行動する能力が求められています。また、創造者として知的財産を使用、共有する権利を態度で示せることやプライバシー管理のスキルをもここでは求められています。

日本では、情報社会で適切な活動を行うための基となる考え方と態度を学ぶ教育として、「情報モラル教育」が広く普及しています。しかし、現行の情報モラルは、危険が多いネットワークや ICT の利活用を規制し、知的創造力の育成を阻害している、という課題が指摘されています。デジタル・シティズンシップでは、ICT の活用を前提とし、行動規範をそのまま教えるのではなく、善し悪しを自ら考える力を身につけさせることを原則としています。これらは、現行の情報モラル教育に決定的に欠けている視点でもあります。

このようなことから、従来の情報モラル教育との違いも踏まえ、一人一台時代の善き使い手になるためには、学校はどのようなことに留意し、指導すればよいかについて研修を実施します。

2 研究主題

GIGA スクール時代におけるデジタル・シティズンシップの共通理解を目指して
～ICT の善き使い手を育てる伴走者として～

3 主 催

沖縄県マルチメディア教育研究会

4 共 催

日本デジタル教科書学会

5 後 援

沖縄県教育委員会(予定)・西原町教育委員会・九州 ICT 教育支援協議会

6 期 日

令和4年7月16日(土) 14:00 ～ 16:30(入室13:45)

7 会 場

西原町役場3F 会議室

8 日 程

13:45	14:00	14:10	15:10	15:25	16:20	16:30
入室 開始	開会行事 (10)	デジタル・シティズンシップについて			閉会行事 (10)	
		実践者講演 (60)	休憩時間 (15)	パネルディスカッション (55)		

9 内容

(1) 開会行事

- ① 開会挨拶 淵 大輔(事務局)
- ② 会長挨拶 宮城 卓司(マルチ研会長・西原町立西原東小学校 校長)
- ③ 共催挨拶 広瀬 一弥(日本デジタル教科書学会 会長)

(2) デジタル・シティズンシップについて

コーディネーター: 国際大学 GLOCOM 主幹研究員 / 准教授 豊福 晋平 先生

講師: 名古屋市立大坪小学校 林一真 先生

① 実践者発表

～ 15分 休憩 ～

② パネルディスカッション

(3) 閉会挨拶 甲斐 崇(マルチ研副会長)

10 大会参加申し込み方法

QRコードを読み取り,
大会参加フォームよりお申し込み下さい。



お問い合わせ先

沖縄県うるま市立津堅小中学校内

TEL:098-978-2141

E-mail:t200124@urumacity.ed.jp (事務局 宮城)

※件名に「デジタル・シティズンシップ研究会について」と
入れて下さい

コーディネーター紹介【豊福 晋平】氏

現職 国際大学 GLOCOM 主幹研究員

経歴 1967年北海道生まれ。横浜国立大学大学院教育学研究科修了、東京工業大学大学院総合理工学研究科博士課程中退、1995年より国際大学 GLOCOM に勤務、専門は学校教育心理学・教育工学・学校経営。長年にわたり教育と情報化のテーマに取り組む。主なプロジェクトとして、全日本小学校ホームページ大賞(J-KIDS 大賞)企画運営(2003～2013)、文部科学省・学校の第三者評価の評価手法等に関する調査研究「学校からの情報提供の充実等に関する調査研究」(2008)、文部科学省・緊急スクールカウンセラー等派遣事業・東日本大震災被災地のための学校広報支援「ともしびプロジェクト」(2011～)など。

講師紹介【林 一真】氏

現職 名古屋市立大坪小学校 教諭

経歴 ・書籍「デジタル・シティズンシップ-コンピュータ-1人1台時代の善き使い手をめざす学び-」執筆者 R2年12月

・名古屋市公立学校指導員(情報教育担当) R2年～R3年

・大阪教育大学教職大学院非常勤講師 R3年前期

・名古屋市立白水小学校-うるま市立津堅小中学校との交流学習 R3年後期

・経済産業省のSTEAMライブラリー「GIGAスクール時代のテクノロジーとメディア～デジタル・シティズンシップから考える創造活動と学びの社会化」教材作成担当 R4年3月

・書籍「デジタル・シティズンシップ+ やってみよう!創ろう!善きデジタル市民への学び-」執筆者 R4年4月

・日本デジタル・シティズンシップ教育研究会 理事(教材開発担当) R4年～